

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・前期/後期・B群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
韓国語 (Korean Language)	担当教員	鄭 潤在 (Jung, yunjae)
	教員室	非常勤講師室
	E-Mail	alicebridal@yahoo.co.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕 × 18回	
〔本科目の目標〕まずは、自己紹介を韓国語で出来るようになることを目指す。そして、旅行の場面で使う韓国語をとおして、韓国文化への興味を深めていく。また、講義の中で取り上げる。韓国の音楽・教育・芸術・伝統・スポーツなどの話題をとおして、韓国語・韓国文化への理解・関心の促進に役立てる。		
〔本科目の位置付け〕4年次の教養科目である。韓国語の文字、基礎会話を修得することを前提とする。来年の5年次の中級過程の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕実際、使える会話中心の学習になるので積極的に授業に取り組む姿勢を求める。最終回の講義で、自己紹介を韓国語で発表出来るようにすること。また、韓国語・韓国文化に関する小レポートでさらに韓国への理解を高めること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. オリエンテーション ハングル文字(1)	2	ハングルの創製背景、及び文字の特徴が理解できる。 基本子音、母音を理解し、文字の組み立てができる。
2. ハングル文字(2) 基本的な挨拶と自己紹介	2	パッチムが理解できる。 韓国の挨拶と簡単な自己紹介ができる。
3. ハングル文字(3) 基本的な挨拶と自己紹介	2	連音化などの発音の変化が理解できる。 基本的な挨拶ができる。
4. 韓国語で名前を書く	2	指定詞の理解ができる。 日本語の韓国語表記方が理解できる。
5. 存在詞と下さいの表現	2	存在詞の否定形の理解ができる。 下さいの表現ができる。
6. 存在詞の疑問形	2	存在詞の疑問形が理解できる。 曜日韓国語で言える。
7. 数詞	2	固有数字と漢数字が理解できる。 色々な単位が理解できる。
8. 中間試験	2	授業項目1~7について達成度を確認する。
9. 数詞と単位	2	様々な単位と共に数字が自由に表現ができる。
10. 位置・方向の表現	2	韓国語で位置代名詞と方向の表現が理解できる。
11. 存在詞、指定詞と位置・方向	2	韓国語で「~の方ですか」の表現ができる。
12. 韓国の食文化	2	韓国の食べ物と食文化が理解できる。 注文の表現ができる。
13. 動詞の活用(1)	2	体の作り方が理解できる。
14. 家族と言葉	2	韓国の家族の文化を理解し、家族構成員の呼び方を韓国語で言える。
15. 動詞の活用(2)	2	体の作り方が理解できる。
16. 趣味の表現	2	職業、趣味の表現ができる。
17. 自己紹介	2	家族構成、歳、趣味など自己紹介ができる。
18. 期末試験	2	授業項目9~18について達成度を確認する。
答案返却・解説		各試験において誤った部分を理解できる。
〔教科書〕『ひとりて学べる韓国語会話』 李 清一著、高橋書店		
〔参考書・補助教材〕適宜プリントを配布する		
〔成績評価の基準〕中間および期末試験の成績(80%) + レポート成績(10%) + 授業態度(10%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕2-c, 4-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕2-3, 4-3		
〔JABEEとの関連〕(a), (f)		